

## 米国ミネソタ大学留学便り

上神 慎之介 広島大学病院 消化器診療科 消化器外科 医科診療医 (当時)

私は現在、ミネソタ州にあるミネソタ大学の消化器外科に留学しています。ミネソタ州はアメリカ合衆国中西部の北側に位置し、北はカナダと国境を接しています。「1万湖の州」のニックネームを持ち、車のナンバープレートにも「10,000 Lakes」と記載されているように、いたるところに大小様々な湖が点在し、とても自然が豊かなところです。大陸性気候のため、冬の寒さは想像以上に厳しく、湖や川も凍りついてしまうほどですが、周囲の人々はとても優しく、私たち家族も少しずつこちらでの生活を楽しめるようになってきました。

州都はセントポールで、ミシシッピ川を隔てて対岸に位置するミネアポリスと合わせて「ツインシティーズ」と呼ばれています。衣料品に税金がかからないためショッピングに適した街と言われ、全米最大のショッピング・モールである「モール・オブ・アメリカ」があることでも知られています。

ミネソタ大学も基幹校は「ツインシティー校」と呼ばれ、キャンパス内をミシシッピ川が流れています。消化器外科はMadoff教授が主宰され、大腸癌、炎症性腸疾患、憩室疾患、骨盤機能障害など幅広く臨床と研究を行っています。私は大腸癌に関する臨床研究に加えていただき、直腸癌患者の予後について研究を行っています。大学を含めた数施設での外来、検査、手術見学、各種カンファレンスの出席も自由にさせていただき、日本では見る機会がほとんどない直腸肛門機能検査や手術、さらに日常的に行われているロボット手術も見学することができ、臨床医としても非常に勉強になっています。また消化器外科の先生はもちろんですが、海外からの留学生、見学者など様々な人々と意見交換できることも私にとって大変貴重な経験になっています。

帰国した際には、こうした経験を少しでも臨床の場に活かせれば幸いです。最後になりましたが、留学の機会を与えていただきました末田教授、大毛教授をはじめ、関係者の皆様方に心より御礼申し上げます。



大学病院入院棟



ミネアポリスの中心部